

Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科				
科目名称	公衆衛生学						授業形態	講義	
科目コード	301600	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	木村 志緒							ICT活 用	○
授業概要	<p>公衆衛生とは「地域社会の努力によって、疾病予防、寿命延長、身体的・精神的健康の増進を図る科学・技術である」と定義されている。この定義について理解を深めるため、健康の概念、公衆衛生の概念、環境汚染、保健統計、疫学、がん、感染症、医療制度、地域保健等について、国試問題を題材として学習する。</p>								
関連する科目	履修前に、食事計画論実習Ⅰを受講しておくことが望ましい。 履修後に、健康管理概論を受講することが望ましい。								
授業の進め方 と方法	<p>(1) 授業序盤：教員による国試過去問解説を聞く。 (2) 授業中盤：まとめ資料作成し、周囲の人と確認しあったのち、提出する（ユニバ[®]の課題）。 (3) 授業終盤：教科書等を見ながら翌週分の問題を解き、周囲の人と協力して正答を見出したり、意見交換をしたのち提出する（ユニバ[®]のテスト）。</p>								
授業計画 【第1回】	オリエンテーション ： 授業概要、授業の進め方、授業計画、授業の到達目標、時間外の学習、評価方法等について理解し、予習に取り組む。								
授業計画 【第2回】	健康の概念、公衆衛生の概念 ： プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの違い等について理解する（国試過去問17問）。								
授業計画 【第3回】	環境と健康(1) ： 四大公害、放射線、廃棄物処理などの環境衛生等について理解する（国試過去問14問）。								
授業計画 【第4回】	環境と健康(2) ： 環境保全に関する条約や環境汚染などの環境衛生等について理解する（国試過去問9問）								
授業計画 【第5回】	環境と健康(3) ： 温熱、上下水道などの環境衛生等について理解する（国試過去問17問）								
授業計画 【第6回】	保健統計 ： 人口静態統計と人口動態統計の違い、患者調査と国民生活基礎調査の違い等について理解する（国試過去問19問）。								
授業計画 【第7回】	疫学手法 ： 症例対照研究とコホート研究の違い等について理解する（国試過去問16問）。								
授業計画 【第8回】	疫学指標・スクリーニング ： 敏感度、特異度、陽性反応的中度等について理解する（国試過去問18問）。								
授業計画 【第9回】	がん ： がん罹患のリスクを高める要因やわが国のがん対策等について理解する（国試過去問13問）。								
授業計画 【第10回】	感染症 ： 感染症法の分類等について理解する（国試過去問15問）。								

授業計画 【第11回】	医療制度 ：医療制度のしくみ国民医療費、医療計画等について理解する（国試過去問22問）。
授業計画 【第12回】	地域保健 ：保健所と市町村保健センターの違い等について理解する（国試過去問15問）。
授業計画 【第13回】	母子保健 ：わが国における母子保健対策（母子手帳、健康診断、健やか親子21、児童虐待防止等）について理解する（国試過去問9問）。
授業計画 【第14回】	高齢者保健 ：介護保険制度等について理解する（国試過去問15問）。
授業計画 【第15回】	産業保健 ：労働衛生の5管理、労働災害等について理解する（国試過去問10問）。
授業の到達目標	①国家試験に必要な基礎的な知識および類似問題を解く際に活用できる力を身に付ける【知識・理解を応用し活用する能力】 ②課題提出の期限を守るようスケジュール管理能力を身に付ける【自らを律して行動できる力】 ③周囲の人と協力して正答を見出したり、他者の苦手なところをサポートしたりといった協調・協働力を身に付ける【協調・協働力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	<学習時間：60分程度> 教科書等を見ながら翌週分の問題を解き、回答番号を周囲の人と確認しあったのち、提出する（ユニバのテスト）
授業時間外学習【復習】	<学習時間：60分程度> 定期試験に向けて、学習した知識を長期的に維持するための工夫をしながら振り返る。
課題に対する フィードバック	(1) 過去問の解説を授業内に行う (2) まとめ資料の作成例をユニバにアップする (1) (2) 以外にも、質問等には授業時間外も含め対応する。
評価方法・基準	下記項目の割合に基づいて、総合的・相対的に評価する (1) 提出物・・・14% (2) 定期試験・・・86% ①問題数：30問 ②問題形式：国試と同様 ③試験終了直前10分間のみ、まとめ資料（紙媒体）の閲覧可
テキスト	カレント 改訂 社会・環境と健康 公衆衛生学（建帛社）ISBN978-7679-0670-6
参考書	特に指定しない
備考	